

「新県立図書館 県民フォーラム」での
主な意見・要望

【山梨らしさ】

地域を伝える「山梨らしさ」は必要。

山梨らしさを考えるのに、内向きの発想ではなく、外にアピールする視点も必要。外国人にとっても山梨らしさが伝わるものであるように。

山梨らしさを追求する上で地域資料に対する取り組み、体制づくりが重要。

山梨のことについて、いろいろな視点から学ぶことができる地域学習の拠点となるように。

【子ども読書支援】

障害を持った子どもたちへの読書支援も行って欲しい。

県立図書館の役割は、「人を育てる」こと。そのため子ども読書支援サービスは必要。

子ども読書支援に関して、市町村を引っ張ってもらいたい。

【市町村図書館への支援・連携】

市町村立図書館とのネットワークシステムについてはきちんと確保して欲しい。

県内図書館の相互貸出を引き続き行って欲しい。

県内図書館長による情報交換の会議・機会を設けて欲しい。

【サービス・人材】

開架本の15万冊は少ない。自分で本を探してみることも大切。ジャンル別で考えれば開架本は20万冊以上は必要。

外国手話の本の導入を。

古文書、漢文などの解説・相談を行ってほしい。

サービスを行うためには、人的体制の充実やボランティアの育成が必要。

地域に関するレファレンスサービスができる人材の育成、確保を。

図書館長には、図書館の運営に精通した人材の配置を。

【ユニバーサル】

建物を造るにあたっては、障害者の意見を聞いてほしい。

文字表示による情報も重要であり、館内情報を文字で表示する機器の設置や、DVD、ビデオには字幕表示のあるものの選定をしてほしい。

外国人にとってもユニバーサルであって欲しい。

【ハード】

ハード面で、山梨のシンボリック的な図書館に。

市町村立図書館の要望に応じるためにも、将来の資料の保存に対応できる十分な収蔵能力の確保を。

閉架書庫は自動書架などを利用して、すみやかに図書が出せるようにしてもらいたい。